

# ヨコハマタイヤフィリピン INC. CSRレポート

**事業内容:** 乗用車用、SUV用タイヤの生産販売  
**敷地面積:** 165,000m<sup>2</sup>  
**従業員数:** 1,702人(2010年4月末現在)  
**所在地:** IE 5 Clark Freeport Zone, Pampanga, Philippines

## 相談・苦情などの受付窓口:

AVP, Asst. Administrative Division Head Ms. Angelina Casasola  
 TEL: +63-45-599-3606 FAX: +63-45-599-3613



## 所長ご挨拶



久世 哲也

当社は横浜ゴムがアジアで最初に設立したタイヤ生産販売会社です。

世界中の多くのユーザーから信頼される製品を製造し、またグループ内アジア地域でのモデル工場となることを目指しております。品質面では、材料の入荷から製品の出荷までを、常に計測できる指標を用いながらコントロール管理を行っています。

YRCの企業理念である「良いモノを、安く、タイムリーに」製品を製造し、お客さまへお届け

することを当社の経営方針とし、また、フィリピン国内でトップレベルの環境貢献企業として、全従業員参加型の地域社会への貢献を継続的に行っております。

2009年の経済危機は、多くの人々、企業にとっては生き残りをかけた

厳しい時間でした。当社も操業低下を余儀なくさせられましたが、2010年度からは需要も回復し、現在ではフル生産が続く状況にあります。2011年2月にはYUPIのさらなる拡大を目指した、第4期の拡張計画を発表し、社内は今後の拡大発展を自らの手で成し遂げていくという気運が満ちております。

一方、環境活動、地域社会貢献活動へも積極的な時間配分も行い、多くの政府機関やクラーク開発公社などからも、その活動が評価され多くの表彰を受けました。

当社は、規模の拡大とともに増加する、環境への影響を最小限に食い止めるべく、地球温暖化、天然資源の枯渇問題など、環境保護活動への取り組みを強化し、フィリピン国内でリーダー役となる企業の一つとして、今後もその責任を果たしていくよう活動を強化していきたいと考えています。

## 環境経営の推進

### 環境データ

項目	2008年度	2009年度	2010年度	
廃棄物発生量(t)	2,288.0	1,701.1	2,185.0	
埋立率(%)	3.6	3.0	0.0	
エネルギー使用量 (原油換算:kl)	電力	9,648	9,941	9,966
	燃料	16,698	13,779	15,724
	合計	26,347	23,720	25,690
温室効果ガス排出量(千t-CO <sub>2</sub> )	65.6	58.5	63.8	
水使用量(千m <sup>3</sup> )	511	404	453	

※年度:1月~12月

※温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用しました。

## 安全健康な職場環境

### 労働安全衛生

安全衛生はすべての基本として、労働災害防止と快適な職場づくりと健康づくりを目指し、日常安全点検を強化、リスクアセスメント活動や、OHSAS18001導入・運用により潜在的危険の排除に日々取り組んでいます。

### 従業員の教育・訓練

品質、安全、環境についてはそれぞれTS16949、OHSAS18001、ISO14001にのっとり教育・訓練を行い、その成果の確認を継続しています。定期的な集合教育だけでなく、個別テーマごとに、実際の現場における改善活動を通じたOJTも積極的に行っています。各階層別に求められるスキルは異なりますが、常に従業員のレベルアップと会社のレベルアップが同調している実感を与えるように、知恵を出し合っています。



## 安全健康な職場環境

### 災害時の対応

フィリピンは地震のリスクがある国ですが、地震の経験はそれほどあるわけではありません。毎年行われる避難訓練を通して、避難ルートの安全性の確認と従業員組織による消防訓練を継続しています。当社が立地するクラーク特別経済区を運営するクラーク開発公社主催の消防団対抗戦では、YTPIの消防団が総合優勝しました。本対抗戦は、クラーク特別区内外の企業数社が参加し、今回は2008年以来、3度目の総合優勝となります。



## 製品・サービスの安全と品質

### 消費者とのコミュニケーション

年1回Media night というイベントを催し、YTPIの活動をプレス関係者に情報を提供しています。また地域社会との交流の機会として茶会を開いています。

またCSR活動の発信として、YTPIのCSR活動を広く発信するため、Sustainability Report 2010を発行しました。



## 人権・労働慣行

### 人権教育

フィリピンの労働法に沿って児童労働、残業時間、労働条件管理等の教育を実施しています。

### 取引先に関する取り組み

専門の監査課(AUDIT SECTION)を設け、取引先監査の際の確認項目として、人権侵害の恐れのある企業と取引をすることのないよう、仕組み化して運用しています。

### 男女平等の推進

夜勤を含む就業条件の都合で、工場内は男性が多いため、女性の比率は6%と低い数字となっています。しかし、間接業務部門では環境の責任者であるAVP(副社長) Ms. Angelina Casasolaさんをはじめ、多くの女性マネージャーが活躍しています。



## 取引先との信頼関係

### 取引先との関係構築

監査課から年に1度、社長名で各取引先に手紙を出し、意見や苦情をいただく、コンプライアンスホットラインという仕組みがあります。



## ステークホルダーコミュニケーション

YTPIの地域とのコミュニケーションについては、特集 地域社会と共に成長するヨコハマタイヤフィリピンの取り組みをご覧ください。



## コーポレートガバナンスとコンプライアンス

### 汚職に関する方針

「会社のお金は私物ではない」翻訳すると非常に直接的な表現になりますが、コンプライアンスの徹底について、方針を出しています。